報道関係者各位
プレスリリース

癒しの里菊池

〒861-1392　熊本県菊池市隈府 888 番地
発信元：菊池市役所市長公室広報交流係
TEL：0968(25)7252　FAX：0968(25)1113

令和７年９月 19 日

～人口減少から生じる地域課題とビジネスチャンス～

未来創造塾 2025 合同講義を開催します

熊本大学と菊池市では、地域課題の解決と地域経済の両立の視点から持続可能な新たなビジネスモデルの創出を目指す人材を育成するため、地場企業の若手経営者や後継者を対象に、人材育成塾「きくち未来創造塾」を開講し、現在４期目を迎えています。

この未来創造塾の取り組みは、これまで県内では八代市、阿蘇広域地域、天草市、玉名市、菊池市、山鹿市、県外でも和歌山県田辺市、富山県南砺市、石川県小松市の９か所で開催しており、総勢 421 人の修了生を輩出しています。本年度からは、日本商工会議所青年部と「人材育成の連携に関する覚書」を締結し、新たに愛知県蒲郡市、群馬県桐生市で未来創造塾が開講。全国からの注目が高まっています。

こうした中、地域を越えたつながりを形成するため、「人口減少から生じる地域課題とビジネスチャンス」と題して、合同講義を開催します。

【日　　時】９月 26 日(金)　午後２時～５時（受付午後１時 30 分～）

【場　　所】熊本市国際交流会館　６階ホール（熊本市中央区花畑町 4 番 18 号）

【参 加 者】未来創造塾の塾生
熊本県八代市、阿蘇地域、天草市、菊池市、山鹿市
和歌山県田辺市、富山県南砺市、石川県小松市
㈱日本政策金融公庫、熊本県信用保証協会　など 100 人程度

【関連する SDGｓの 17 のゴール】

【プログラム】
・開会挨拶
・出席者紹介
・講演＆ワーク「人口減少から生じる地域課題とビジネスチャンス」
パネリスト：熊本大学副学長・研究開発戦略本部本部長　教授　金岡省吾（かなおかしょうご）
熊本大学研究開発戦略本部　客員教授　鍋屋安則（なべやすのり）
岡本農園　代表／(株)日向屋　代表取締役　岡本和宜（おかもとかずのり）(たなべ未来創造塾１期生)

※会場準備の都合上、取材を希望する場合は熊本大学の下記担当者宛に電話またはメールで９月 25 日(木)までにご連絡ください

■本件に関するお問い合わせ先
菊池市役所商工振興課　課長：岩木　担当：磯田・谷岡
MAIL：shoukou@city.kikuchi.lg.jp　TEL：0968(36)9720　FAX：0968(25)1123
熊本大学研究開発戦略本部　担当：池田
MAIL：ikeda-mas@kumamoto-u.ac.jp TEL：096-342-2043

癒しの里 菊池 KIKUCHI CITY

地域課題解決とビジネスの両立！

未来創造塾
合同講義2025

▶未来創造塾は2025年9月現在，
- 熊本県八代市（6期）　• 天草市（5期）
- 阿蘇広域（1市4町3村/5期）
- 菊池市（4期）　• 山鹿市（3期）
- 和歌山県田辺市（10期）
- 富山県南砺市（6期）• 石川県小松市（2期）

また本年度より日本YEGに運営による
愛知県蒲郡市と群馬県桐生市で展開しています

●未来創造塾とは

熊本大学が自治体と共催し展開する人材育成塾。地域の若手企業経営者等が，地域資源を活用しながら地域課題をビジネスで解決するプランを考え，広義の第2創業としてCSV，コミュニティビジネスの稼働を支援するものです。熊本大学では,「産学官金」が一体となった共創の場「未来創造塾」を実施し、421名の修了生を輩出、うち提案事業の実行率は約60%と数多くの地域課題解決型事業を創出してきました。

日時

2025年
9月26日（金）
14:00-17:00

会場

熊本市国際交流会館
6階　ホール

講師
熊本大学副学長
教授　金岡省吾

ゲスト講師
（株）日向屋
代表取締役
岡本　和宜

プログラム（予定）

●講義＆ワーク
「人口減少から生じる地域課題とビジネスチャンス」
講　師　：熊本大学副学長・地域連携戦略部門長　教授　金岡 省吾
（株）日向屋　代表取締役　岡本 和宜
※ 講師からの講義をもとに，会 場（ リアル） とｚｏｏｍ（ オンライン） にてＰＢＬ ワークを実 施します

●事務連絡・写真撮影

申込締切り　令和7年9月12日（金）

■共催
熊本大学 Kumamoto University / 八代市 / 阿蘇DC / 天草市 / 菊池市 / 山鹿市 / 富山県南砺市 / 石川県小松市

■お問い合わせ先
熊本大学　研究開発戦略本部　地域連携戦略本部
電話番号 I 096-342-2043　担当：池田
メール I ikeda-mas@kumamoto-u.ac.jp

別添

未来創造塾とは

地域課題をビジネスで解決する人材育成と新たなビジネスモデルの創出を目指した地域再生塾。年間 14 回の講義や PBL（Project Based Learning)、演習を通じて塾生が自ら考えたビジネスプランを発表する。熊本大学と自治体等が主催、金融機関等と連携した「産学官金」の支援体制を構築し、地域事業者に多様な機関が伴走する「共創の場」を形成。

これまで**全国９ヶ所 421 名の修了生**を輩出、**約 70%の高い事業実行率**と **25 を超える表彰事業受賞事例**が生まれていることが評価され、内閣府まち・ひと・しごと創生本部や厚生労働省などの国の機関に招聘されるとともに、県内外での講演や視察、記事掲載などが相次いでいる。今年度からは日本商工会議所青年部と連携し、新たに愛知県蒲郡市と群馬県桐生市で「未来創造塾」が創設され、全国 11 ヶ所に拡大予定。

（参考）各自治体における未来創造塾の実施状況

名称	創設年度	修了生
やつしろ未来創造塾（八代市）	2020 年～	５期 62 名
あまくさ未来創造スクール（天草市）	2021 年～	４期 51 名
あそ未来創造塾（阿蘇広域）	2021 年～	４期 48 名
たまな未来創造塾（玉名市）	2021 年～	４期 38 名
きくち未来創造塾（菊池市）	2022 年～	３期 29 名
やまが未来創造塾（山鹿市）	2023 年～	２期 24 名
たなべ未来創造塾（和歌山県田辺市）	2016 年～	９期 108 名
なんと未来創造塾（富山県南砺市）	2020 年～	５期 49 名
こまつ地域未来創造塾（石川県小松市）	2024 年～	１期 12 名
がまごおり地域未来創造塾（愛知県蒲郡市）	2025 年～	今年度創設予定
きりゅう地域未来創造塾（群馬県桐生市）	2025 年～	今年度創設予定

※阿蘇広域（小国町、南阿蘇村、産山村、高森町、阿蘇市、西原村、山都町、南小国町）

２．未来創造塾を起点とした地方創生

未来創造塾修了生が、高校や大学での講義、フィールドワークの受入を行うとともに、都市圏企業社員との越境学習事業「ことこらぼ」を実施するなど、**地域人材を起点とした持続可能な内発型の地方創生**であるとして全国から注目されている。

また、**天草市、八代市、菊池市、小国町、肥後銀行、和歌山県田辺市から政策研究員として熊本大学に職員を派遣**するとともに、未来創造塾を実施している自治体から職員 12 名が民間等共同研究員（非常勤）として業務に携わるなど、大学と自治体が一体となった運営体制を構築している。